

平成26年チェルタルド市青年使節団

歓 迎 議 会 会 議 録

第 1 号

7月31日（木曜日）

平成26年チェルタルド市青年使節団歓迎議会会議録第1号

平成26年7月31日（木曜日）

議事日程 第1号

平成26年7月31日（木曜日）午前10時31分開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 決議案第 1号 甘楽町・チェルタルド市との国際交流推進に
関する決議について

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（12人）

1番	江原榮和君	2番	佐俣勝彦君
3番	山崎愛子君	4番	富岡朝男君
5番	山崎澄子君	6番	長岡敬一君
7番	柳澤清次君	8番	長谷川儀平君
9番	黛哲夫君	10番	中里芳久君
11番	吉田恭一君	12番	山田邦彦君

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町長	茂原莊一君	副町長	由田進君
教育長	柴山豊君	会計管理者(会計課長)	石井和子君
総務課長	山田隆史君	企画課長	松沢計作君
健康課長	中野哲也君	住民課長	飯塚章君
振興課長	松本一雄君	水道課長	吉田喜代治君
学校教育課長	山田勇君	社会教育課長	吉田泰志君
農業委員会事務局長	山崎等君		

チェルタルド市青年使節団

団長(市長)	ジャーコモ・クチーニ	団員	エーボ・チャボ
団員	マリア・モッレアーレ		

事務局職員出席者

事務局長	高橋茂	書記	飯塚香奈
------	-----	----	------

○開会・開議

午前10時31分開会・開議

◇議長（**黨 哲夫君**） 議員の出席が定足数に達しておりますので、これより第8次チェルタルド市青年使節団歓迎議会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。順次議事を進めます。



○議長挨拶

◇議長（**黨 哲夫君**） 開会にあたり、甘楽町議会を代表して第8次チェルタルド市青年使節団の皆様へ歓迎の挨拶を申し上げます。

この度は、チェルタルド市長にご就任、誠におめでとうございます。衷心よりお祝いを申し上げます。これからも甘楽町とチェルタルド市との交流が末永く続きますことにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

1983年に甘楽町とチェルタルド市との国際姉妹都市締結、「一粒の麦」の信念をもって結ばれ、すでに30周年の歳月の間、初代チャンポリーニ市長後5代目に当たる一番若い市長さんであるとお聞きしました。若い新鋭をもって、これからもさらに甘楽町とチェルタルド市の交流が進展されますことを期待するところであります。

昨年、ジョヴァンニ・ボッカチオ生誕700年祭、姉妹都市締結30周年記念式典に甘楽町議会議員団として参加させて頂き、また、多大なご接待を頂き御礼を申し上げます。

チェルタルド市の皆さんとの交流ができ、チェルタルド市の様子が「百聞は一見にしかず」にして知ることが出来ました。また、ワインやオリーブオイルに関する知識を得ることが出来ました。

この度、甘楽町議会を訪問されました絆として、「両都市の国際交流推進に関する決議書」を、本歓迎議会で議決し、甘楽町議会の熱意を両都市に表したいと考えましたので、決議書の受領を願います。

むすびに、甘楽町とチェルタルド市が末永く堅実な交流が行われることをご祈念申し上げますと共に、使節団の無事の帰国を願い、さらに、ご健勝とご多幸を心からご祈念申し

上げ歓迎の挨拶といたします。

○日程第1 会議録署名議員の指名

◇議長（**黛 哲夫君**） 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

甘楽町議会会議規則第127条の規定により、議長から次の議員を指名いたします。
第6番長岡敬一君、第7番柳澤清次君の両名といたします。



○日程第2 会期の決定

◇議長（**黛 哲夫君**） 日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本歓迎議会の会期を、本日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（**黛 哲夫君**） 異議なしと認めます。よって会期は本日限りと決定いたしました。



○日程第3 決議案第1号 甘楽町・チェルタルド市との国際交流推進に関する決議について

◇議長（**黛 哲夫君**） 日程第3、決議案第1号 「甘楽町・チェルタルド市との国際交流推進に関する決議」についてを議題といたします。

提案者の趣旨説明を求めます。

議席番号7番、総務文教常任委員長、柳澤清次君、登壇して趣旨説明を願います。

◇総務文教常任委員長（**柳澤清次君**） 決議案第1号、「甘楽町・チェルタルド市との国際交流推進に関する決議書」の趣旨説明を案文の朗読をもってかえさせていただきます。

甘楽町・チェルタルド市との国際交流推進に関する決議書。日本国・甘楽町とイタリア共和国・チェルタルド市に蒔かれた『一粒の麦』は、青年及び一般使節団の相互派遣など、教育、文化、産業経済をはじめ様々な分野における交流を通じて、友好という貴重な実を育んでいる。

よって、甘楽町議会は、この30年間に築かれた両市町の友好親善姉妹都市交流の成果を深く認識し、相互交流と相互理解の道とともに歩むあらゆる行動を支援し、実現するための協力をする。

以上、決議する。2014年7月31日。日本国甘楽町議会、議長黛哲夫。宛先、日

本国甘楽町、町長茂原荘一様。イタリア共和国チェルタルド市、市長ジャーコモ・クチーニ様。日本国公益財団法人甘楽町国際交流振興協会、理事長富岡古男様。イタリア共和国チェルタルド市国際文化交流推進協会、会長リド・オルシ様。

以上であります。どうか議員各位のご賛同をお願い申し上げます。

◇議長（**黛 哲夫君**） 提案者の説明が終わりました。

お諮りいたします。

ここで、質疑・討論を省略して直ちに採決に入りたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（**黛 哲夫君**） 異議なしと認めます。総務文教常任委員長、柳澤清次君は自席にお戻りください。

決議案第 1号について採決に入ります。

お諮りいたします。

本案を原案のとおり決することに、賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◇議長（**黛 哲夫君**） 挙手全員。よって、本案は原案のとおり可決されました。



○進上セレモニー

◇議長（**黛 哲夫君**） ここで甘楽町議会議長から、甘楽町長茂原荘一様、チェルタルド市長ジャーコモ・クチーニ様、公益財団法人甘楽町国際交流振興協会、理事長富岡古男様及びチェルタルド市国際文化推進交流協会会長、リド・オルシ様に決議書をお渡しさせていただきます。

〔議長降壇〕

◇議会事務局長（**高橋 茂君**） はじめに、甘楽町長茂原荘一様。

議長の面前にお進み、お受け取りくださるようお願い申し上げます。

〔議長より町長に手渡す〕

◇議会事務局長（**高橋 茂君**） 自席にお戻り願います。

次に、チェルタルド市長ジャーコモ・クチーニ様。

議長の面前にお進み、お受け取りくださるようお願い申し上げます。

〔議長より市長に手渡す〕

◇議会事務局長（高橋 茂君） 自席にお戻り願います。

次に、公益財団法人甘楽町国際交流振興協会、理事長富岡古男様。

議長の面前にお進み、お受け取りくださるようお願い申し上げます。

〔議長より理事長に手渡す〕

◇議会事務局長（高橋 茂君） 自席にお戻り願います。

次に、チェルタルド市国際文化推進交流協会、会長リド・オルシ様代理、エーボ・チャボ様。

議長の面前にお進み、お受け取りくださるようお願い申し上げます。

〔議長より会長代理に手渡す〕

◇議会事務局長（高橋 茂君） 自席にお戻り願います。

〔議長登壇〕

◇

○町長挨拶

◇議長（黛 哲夫君） ここで、甘楽町長の挨拶を賜ります。

◇甘楽町長（茂原荘一君） チェルタルド市青年使節団歓迎議会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先程、甘楽町とチェルタルド市との国際交流推進に関する決議を議決いただき、その決議書を議長より頂戴いたしました。

1983年からの両市町交流は、多くの皆さんの情熱によりさまざまな困難を乗り越え、今日まで多くの成果をあげてまいりました。

今、議会からの決議書を頂戴し、チェルタルド市との交流を一層推進すべく、町長として心新たに決意いたしましたところです。

さらにジャーコモ・クチャーニ チェルタルド市長を団長とする使節団の皆さん、公益財団法人甘楽町国際交流振興協会、富岡古男理事長も出席いただいております。両市町交流の未来に向け、大変心強く感じております。

終わりに、甘楽町がチェルタルド市、両市町協会と手を携え、交流を推進することをお誓いするとともに、議員各位には、健康にはくれぐれもご留意いただき、ますますご活躍賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

ありがとうございました。

◇

○市長挨拶

◇議長（**黛 哲夫君**） 続いて、チェルタルド市長ジャーコモ・クチーニ様からごあいさつを賜りたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

◇チェルタルド市長（**ジャーコモ・クチーニ君**） 皆さん、こんにちは。議員の皆様、はじめまして。私は、ジャーコモ・クチーニと申します。このような場に立ちますことは、私にとって大変慣れない場です。と申しますのも、私は数か月前にチェルタルド市の市長に就任したところです。イタリアのみならず日本のこのような議会に出席でき、ありがたい経験をさせていただくとともに、大変緊張した心持ちです。

先程、お話がありましたが、私はチェルタルド市と甘楽町が姉妹都市締結してから5番目の市長職についた訳です。この姉妹都市締結は1983年になされ、この時には、私は生まれたばかりの子どもでした。または、その前かもしれません。しかしながら、若い私は私なりにこのような公的な職務というものがどういうものであるか、両市町の姉妹都市締結がどういうものであるかということ而努力し理解してまいりました。そして、市長という役職がいかに大切か、市長という役職がどのように国際交流に結び付いていくかということを実感しているところです。私はこのような場において大変感動をしております。そして、この30年という甘楽町とチェルタルド市との交流というものが、大変長い道のりだったこと、この長い道のりが大きく実を結んでいるということをよく知っております。また、若い世代も甘楽町のことをよく存じております。大人も、昔、甘楽町に来たという経験を通して、よく甘楽町のことを知っております。こういった人的な関係のみならず、食品などの交流、商業的な交流を通して甘楽町とチェルタルド市は実り多い交流をやってまいりました。

数年前になりますが、日本が震災に襲われた時、その時、私は評議員でしたが、日本、甘楽町に行ったことがあるという市民からたくさんの電話を受けました。甘楽町は今、どうなっているのか、日本はどうなっているのかと心配する市民からたくさんの問合せがありました。こういったことを通しまして、いかにチェルタルド市の市民が日本、そして甘楽町に対して深い愛情と深い関心を持っているのかということに再認識するに至った訳です。この長い30年間を通して、現在、生きている私たちがいかに友好を大事にすることが大切であるかということに再認識した次第です。そして、日本が震災に遭った際に、チェルタルド市の市民が甘楽町の町民の皆様に対して心配した心というのは、例えば、イタリアが同じような震災に遭った時に抱く感情とまったく同じものです。

私は、先程申しあげましたが、就任しましてから数か月、2か月足らずです。たくさん抱える実務の中で、それを差し置きまして来日をしたいと選択をしました。と申しますのも、新市長としましてこの地にやって来て、茂原町長とともにもう一度姉妹都市締結に根差す基本の交流というもの、そして親愛の情というものを確認したかったからです。

最後になりますが、茂原町長とともに今後も両市町の関係が円滑に進み、そして姉妹都市交流がさらに深くなることを祈念しております。そのために、茂原町長と手に手を携えてやっていきたいと思えます。皆様、私のスピーチに対し、ご清聴ありがとうございます。



○字句等整理委任の件

◇議長（**黛 哲夫君**） 以上をもちまして、議事は終了しました。

お諮りいたします。甘楽町議会会議規則第45条の規定により、字句等の整理につきましては議長に一任願いたいと思えますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（**黛 哲夫君**） 異議なしと認めます。

よって、字句等の整理につきましては議長に一任願います。



○閉 会

◇議長（**黛 哲夫君**） 以上をもちまして、歓迎議会の閉会にあたり、甘楽町議会の概要について少しお話しいたします。

甘楽町議会は町民の代表として選挙によって選ばれます。現在の議員数は12名です。大きな任務は、町の予算や仕事について、町の執行者・町長から提案されます事項を審議・調査して町の方針などを決めたり、意見を述べたりすることが主な任務です。

このように、町議会は「議決機関」として、町長は「執行機関」として、それぞれの立場で任務を果たしながら、町の振興を図っています。

「議決機関」と「執行機関」の取組の様子を表現した言葉があります。例えば、車の両輪を想定しますと、車のどちらかが異常で、回転しなければ、車は正常に動きません、つまり右側が「議決機関」で、左側が「執行機関」としますと、どちらかの車輪の回転が異なりますと、車は順調に進行しません。よって、両輪が理想的に回転することが、行政が円満に執行されるということなのです。

そして、「執行機関」からの企画や計画などの提案事項が議決されまして甘楽町が進展することになります。

本日の議会は、この議場で執行機関からの提案事項なく、甘楽町議会が自ら提案して議員全員で議決し「議決書」として、甘楽町議会が甘楽町とチェタルド市の交流事業に関する事項、すべてを協力することを「意思」したものであります。

本日の歓迎議会は本来の議会状況の一部でありますので、議会とは、こうした任務を行っております、少しでも理解されましたら幸いです。

以上もちまして、チェタルド市青年使節団歓迎議会を閉会いたします。

午前11時03分閉会

上記の会議の次第は、議会事務局が作成したもので、その記載の内容が正確であることを認め、ここに署名する。

議会議長 黛 哲 夫

署名議員 長 岡 敬 一

署名議員 柳 澤 清 次